

和歌山病院での実習を終えて



下菌 涼太

今回呼吸器内科のポリクリの一環として、2日間和歌山病院に実習に行かせてもらいました。和歌山病院での実習では、結核についてのセミナー、N95の装着、結核病棟の見学、南方病院長によるレントゲンの読み方のセミナーを受けさせてもらいました。結核病棟に入る際、N95を装着させてもらったのですが、そのいきづらさを体験して、今まで患者さんもN95を装着した方が感染防止のためには確実ではないかと考えていたのですが、患者さんに相当の負担となることがわかりました。

南方病院長によるレントゲンのセミナーでは、自分で「考える」ということの大事さを再認識しました。テストのたびに暗記しては忘れていく繰り返しになるのではなく、自分で「考える」ことでその知識を自分のものにしていこうと思いました。このセミナーではレントゲンの正常について教えていただいて、今まであいまいであったレントゲンの読み方を「考える」ことを通じて学ぶことが出来ました。この学んだ基礎を土台として、自分でレントゲンの異常についても学びたいと思いました。

和歌山病院での実習は2日間と短かったですが、とても充実した2日間を送らせてもらいました。今回の実習に携わってくれた和歌山病院のスタッフの皆さま、本当にありがとうございました。